

## 会社情報

### 会社概要

2015年12月31日現在

商号	ホシザキ電機株式会社 (HOSHIZAKI ELECTRIC CO.,LTD.)
所在	本社 〒470-1194 愛知県豊明市栄町南館3番の16 (代表電話) 0562-97-2111
設立	昭和22(1947)年2月5日
上場	平成20年12月10日：東京証券取引所市場第一部 並びに名古屋証券取引所市場第一部
資本金	79億93百万円
事業内容	全自動製氷機、業務用冷凍冷蔵庫、 業務用食器洗浄機をはじめとする各種フードサービス 機器の研究開発及び製造販売
決算	12月31日
従業員数	(連結) 12,634名 (単体) 1,167名
連結子会社	国内17社 海外39社(合計56社)

### 役員

2016年3月24日現在

代表取締役社長	坂本 精志	取締役	尾崎 司
常務取締役	本郷 正己	取締役	恒松 孝一
常務取締役	川井 秀樹	取締役	落合 伸一
常務取締役	丸山 暁	取締役	古川 義朗
取締役	小川 恵士郎	取締役(監査等委員)	北垣戸 弘充
取締役	小林 靖浩	取締役(監査等委員)	小野田 誓
取締役	小倉 大造	取締役(監査等委員)	元松 茂

### 株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

- 配当金のお振込指定手続きについて  
配当金の受取り方法として、お振込みによるお受取りをご選択いただくことができます。株券電子化により、従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての銘柄の配当金のお受取や、証券会社の口座でも配当金のお受取が可能となります。確実に配当金をお受取いただくためにも、これらの振込による配当金のお受取をお勧めします。詳しくは、お取引証券会社等にお問合せください。
- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



株主・投資家の皆さまへ

# ホシザキグループ 報告書

第70期 (2015年1月1日～12月31日)



## ホシザキ電機株式会社

〒470-1194 愛知県豊明市栄町南館3番の16 総務部総務課  
TEL:0562-96-1111 FAX:0562-97-7427

証券コード：6465

## ■ トップメッセージ

# 過去最高を更新する売上高および営業利益を達成。 次なる目標を見据えた『2020年経営ビジョン』を策定しました。



代表取締役会長兼社長

坂本 精志

### ■ 存在意義

私たちホシザキグループは、多様化する「食」に対するニーズの変化に対応し、お客様のみならず社会に貢献できる「進化する企業」であることを目指します。これを満たすため、独自の技術に基づくオリジナル製品を創造し、より快適でより効率的な食環境へ向けての新たな提案と迅速かつ高品質なサービスを提供します。

### ■ 経営姿勢

- 遵法はもとより社会と社員から信頼される会社づくり
- 透明性のある経営議論のできる経営の実践
- 事業活動と環境との調和働きやすい職場環境の実現

「良い製品は  
良い環境から」

### □ 当期までの業績の総括 □

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当期(2015年度)の連結業績は、売上高・営業利益ともに過去最高を更新する業績となりました。株主の皆様への配当金につきましても、1株当たり60円と、前年実績から10円増配させていただくことができました。

当期(2015年度)は、5年前に策定した『2015年経営ビジョン』の最終年度となりますが、売上高は目標の2,200億円に対して2,601億円、営業利益率(のれん償却後)は目標の9%に対して12.2%と、ともに目標を大幅に上回ることができました。

『2015年経営ビジョン』においては、国内における安定成長を持続させながら、海外における市場拡大の加速を図り、海外売上高比率を2010年度の実績22.7%から2015年度には35%まで高める目標を掲げていましたが、国内売上が想定以上に堅調な成長を達成した中、円安の追い風もあり、海外売上高比率を34.7%まで高めることができました。

また、製氷機は、数年前に販売台数「世界No.1」を達成していますが、2015年度に中国市場にて高い販売実績を有する浙江愛雪制冷電器有限公司が傘下となったことが貢献し、業務用冷蔵庫も販売台数「世界No.1」を達成しました。

さらに、タイにHOSHIZAKI (THAILAND) LIMITEDを設立、マレーシアにHOSHIZAKI MALAYSIA SDN. BHD.を設立(現地販売会社の事業取得)し、東南アジア圏の販売網をより磐石なものとしております。

### □ 『2020年経営ビジョン』の概要 □

当期(2015年)までの業績は堅調であったものの、当社を取り巻く事業環境は、国内及び海外において不透明さを増しております。段階的に少子高齢化が進む国内においては、フードサービス業界において今後大きな成長は期待できませんし、進出エリアが拡大する海外においては、市場環境及び競争環境がエリア・国毎に異なり、事業リスクも上昇していくことが予想されます。

当社は、こうした事業環境の不透明さを十分考慮した上で、2016年を初年度とし、2020年を最終年とする『2020年経営ビジョン』を策定しました。「フードサービス機器業界 グループ売上高世界No.1」と「グローバルな環境変化に備えた経営基盤づくり」の2つの経営方針の下、成長及び収益性の改善を追求していくと同時に、事業環境の変化への的確な対応を図るための基盤づくりを行ってまいります。

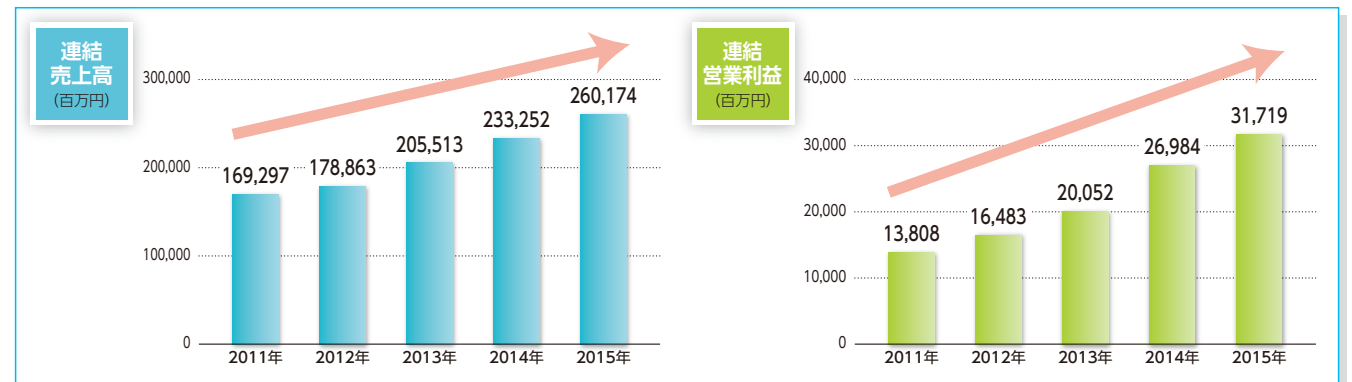
この2つの経営方針のもと、財務目標(2020年度)として、当期(2015年度)の連結売上高実績2,601億円の約54%増となる、連結売上高4,000億円を目指します。内600億円については、新規買収によって実現する計画(600億円は出資比率分の

み考慮)であり、今後も従来同様、新規M&Aについては積極的に取り組んでいきます。結果として、2020年度には、海外売上高比率50%、連結営業利益率14.0%(新規M&Aののれん償却含まず)を目指してまいります。

当社は、国内市場を中心に、製品領域を従来の主力製品(製氷機、業務用冷蔵庫等)から加熱調理機器(スチームコンベクションオープン、電磁調理器等)へ、さらに、電気製品からガス製品に拡大してきました。また、従来の機器販売に加えて、調理メニューの提案、厨房設計や衛生管理提案等のソフトビジネスにも今後積極的に取り組んでいく予定です。こうした状況を踏まえて、より多様化する当社の事業領域に即すべく、皆様にご愛顧いただいているホシザキブランドと商号を統一するため、2016年7月1日付で、商号を現在の「ホシザキ電機株式会社」から「ホシザキ株式会社」に変更いたします。

商号変更を機に、フードサービス機器の総合メーカーとして、今後更なる成長を目指してまいります。

株主の皆様には、『2020年経営ビジョン』の取り組みにご期待いただき、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



■ インフォメーション & トピックス

# フードサービス機器業界 グループ 売上高 世界No.1を目指して…

## 海外

製氷機に次いで世界No.1の販売シェアを獲得した業務用冷蔵庫の更なる拡販に向けて、グローバル 戦略を加速!



業務用冷蔵庫のグローバル戦略として、現在年間販売台数1万台規模の北米では、ホシザキアメリカの生産能力を5万台規模まで拡張する計画を進めており、南米では、マコム社を中心に拡販体制の強化を図っています。また、欧州では、グラム社とホシザキヨーロッパB.V.が協力し、販売チャネルの効率化、ブランド戦略の強化を図るとともに、周辺地域の企業による低価格冷蔵庫のOEM供給も視野に入れています。インドでは、ウェスタ

ン社においてステンレス製のタテ形業務用冷蔵庫の生産が軌道に乗り、インド国内及び東南アジアへの供給拡大を進めています。中国では、愛雪社(2015年6月買収)が製品の品質改善を早期に図り、中・低価格帯製品の拡販を強化しています。これら海外各社の活発な動きに対して、日本のホシザキ電機がマザーカンパニーとして技術・製造・管理など多方面から支援し、グループ一丸となった拡販活動を推進しています。

## 国内

圧倒的なシェアを誇る国内市場において、大型物件対応力の強化が順調に進捗!

事例案件 「まるごとにつぼん」(東京浅草、2015年12月オープン)



- 他社にはマネのできないプロジェクト管理能力
- 初出店のテナントが半数以上、東京初進出店が約8割を占めるため、参考図面での丁寧な説明が必要
- 店舗ごとに設備をとりまとめる必要があり、図面作成枚数、時間ともに通常よりも膨大

### 営業・設計等の組織力を通じた解決提案を実現

- 膨大な枚数の厨房図面作成に加え、単品図面も提供することで、**お客様の信頼を獲得**
- 3DCADを駆使した立体的な図面提案により、**スピーディーな図面作成を実現**

■ 連結財務ハイライト

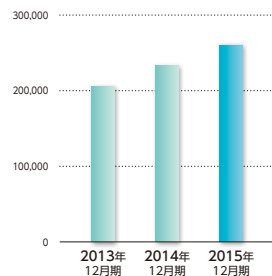
■ 連結財務ハイライト

(単位：百万円)

	2013年12月期	2014年12月期	2015年12月期
売上高	205,513	233,252	260,174
営業利益	20,052	26,984	31,719
経常利益	26,349	31,235	30,864
当期純利益	15,769	15,011	16,971
純資産	146,930	164,533	176,545
総資産	232,982	256,412	273,655

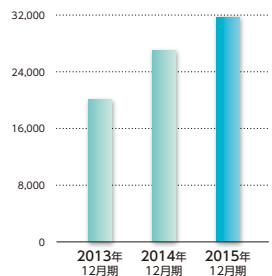
■ 売上高

(単位：百万円)



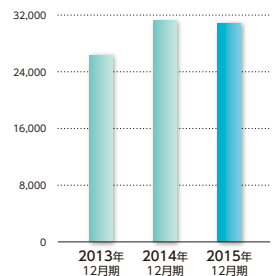
■ 営業利益

(単位：百万円)



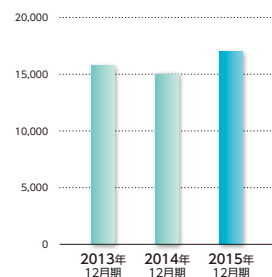
■ 経常利益

(単位：百万円)



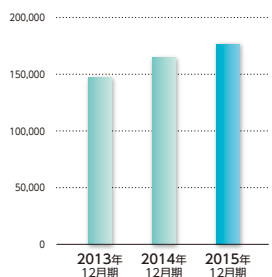
■ 当期純利益

(単位：百万円)



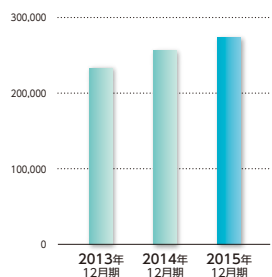
■ 純資産

(単位：百万円)



■ 総資産

(単位：百万円)



■ 営業概況

事業環境

当連結会計年度における国内の経済環境は、政府の経済政策や日銀の金融政策等の効果により、企業業績の改善による設備投資の増加が見られ、景気は回復基調で推移しました。一方、個人消費は、雇用や所得環境に改善の兆しが見られましたが、足踏み状態が続き、緩やかな回復に留まりました。

海外では、米国の景気は堅調に推移し、欧州においても、景気は着実に回復しました。一方、新興国においては、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境においては、主要販売先であるフードサービス産業において、国内及び米国を中心に、設備投資が好調に推移しました。

業績・成果

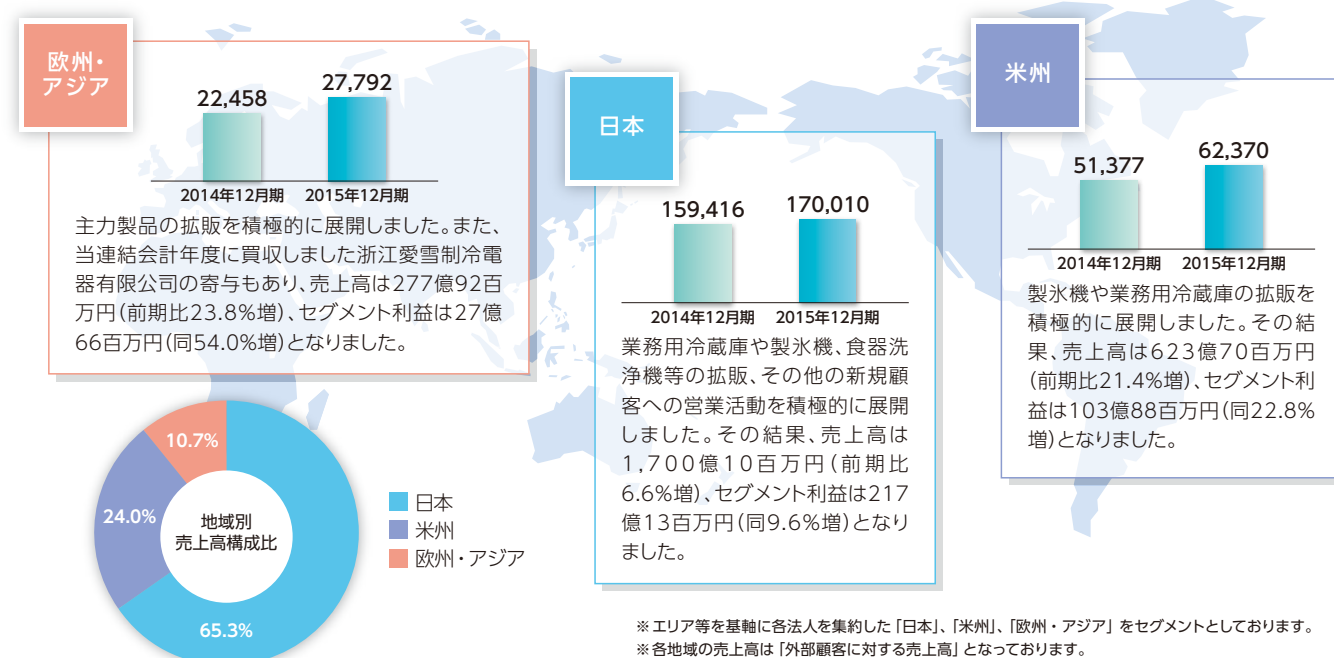
このような環境のなか、当社グループは、フードサービス産業をはじめとする既存顧客への販売促進を継続し、新規顧客への販路拡大に積極的に取り組みました。海外では、景気が堅調に推移している米国を中心に、主力製品の一層の拡販に努めました。さらに、ITの活用による業務効率化や生産性向上に継続的に努めました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高2,601億74百万円(前期比11.5%増)、営業利益317億19百万円(同17.5%増)、経常利益は、為替差損15億14百万円の計上等により308億64百万円(同1.2%減)となりました。また、特別損失として減損損失及びのれん償却額17億91百万円の計上等により当期純利益は、169億71百万円(同13.1%増)となりました。

■ 連結セグメント情報

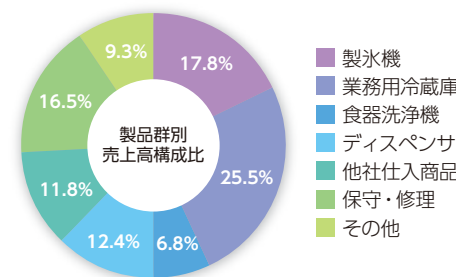
■ 地域別売上高

(単位：百万円)



■ 製品別売上高

(単位：百万円)



	2014年12月期	2015年12月期
製氷機	40,379	46,203
業務用冷蔵庫	59,359	66,220
食器洗浄機	15,337	17,646
ディスペンサ	27,134	32,320
他社仕入商品	27,958	30,713
保守・修理	39,757	42,874
その他	23,326	24,194
合計	233,252	260,174

## ■ 連結財務諸表

### ■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当期末 2015年12月31日現在	前期末 2014年12月31日現在	増減額
<b>資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>	<b>211,563</b>	<b>190,279</b>	<b>21,284</b>
現金及び預金	148,950	131,029	17,921
受取手形及び売掛金	27,942	26,369	1,573
商品及び製品	13,049	11,010	2,038
仕掛品	3,511	3,569	△58
原材料及び貯蔵品	8,721	8,299	421
繰延税金資産	3,642	3,504	137
その他	5,842	6,610	△768
貸倒引当金	△95	△115	19
<b>2 固定資産</b>	<b>62,092</b>	<b>66,133</b>	<b>△4,041</b>
<b>有形固定資産</b>			
建物及び構築物(純額)	17,849	17,198	651
機械装置及び運搬具(純額)	7,688	7,139	549
工具、器具及び備品(純額)	2,500	2,133	367
土地	16,024	15,874	150
リース資産(純額)	72	77	△5
建設仮勘定	991	911	79
<b>無形固定資産</b>	<b>9,157</b>	<b>14,905</b>	<b>△5,748</b>
のれん	3,534	6,895	△3,361
その他	5,622	8,009	△2,386
<b>投資その他の資産</b>	<b>7,807</b>	<b>7,893</b>	<b>△85</b>
繰延税金資産	5,336	5,511	△175
その他	2,698	2,624	74
貸倒引当金	△226	△242	15
<b>3 資産合計</b>	<b>273,655</b>	<b>256,412</b>	<b>17,242</b>

#### 1 流動資産

現金及び預金、受取手形及び売掛金、商品及び製品が増加したことから、流動資産は前期末比212億84百万円増加し、2,115億63百万円となりました。

#### 2 固定資産

建物及び構築物、機械装置及び運搬具が増加しましたが、のれんが減少したことから、固定資産は前期末比40億41百万円減少し、620億92百万円となりました。

#### 3 資産合計

固定資産が減少した一方で、流動資産が増加したことから、総資産は前期末比172億42百万円増加し、2,736億55百万円となりました。

3

	当期末 2015年12月31日現在	前期末 2014年12月31日現在	増減額
<b>負債の部</b>			
<b>流動負債</b>	<b>77,132</b>	<b>71,586</b>	<b>5,546</b>
支払手形及び買掛金	15,856	13,405	2,451
未払金	13,764	13,086	678
未払法人税等	4,075	3,985	89
前受金	20,464	18,362	2,101
賞与引当金	3,284	3,040	244
製品保証引当金	1,359	1,218	140
その他	18,327	18,487	△160
<b>固定負債</b>	<b>19,977</b>	<b>20,293</b>	<b>△316</b>
繰延税金負債	4,939	5,201	△261
役員退職慰労引当金	427	474	△47
退職給付に係る負債	13,597	13,433	164
製品保証引当金	858	732	125
その他	154	451	△297
<b>負債合計</b>	<b>97,109</b>	<b>91,879</b>	<b>5,230</b>
<b>純資産の部</b>			
<b>株主資本</b>	<b>170,822</b>	<b>157,423</b>	<b>13,398</b>
資本金	7,993	7,948	45
資本剰余金	14,516	14,470	45
利益剰余金	148,313	135,005	13,307
自己株式	△1	△1	△0
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>3,042</b>	<b>5,412</b>	<b>△2,370</b>
その他有価証券評価差額金	209	182	26
為替換算調整勘定	2,708	5,010	△2,301
退職給付に係る調整累計額	124	219	△95
<b>少数株主持分</b>	<b>2,681</b>	<b>1,697</b>	<b>983</b>
<b>純資産合計</b>	<b>176,545</b>	<b>164,533</b>	<b>12,012</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>273,655</b>	<b>256,412</b>	<b>17,242</b>

4

#### 4 流動負債

支払手形及び買掛金、未払金、前受金が増加したことから、流動負債は前期末比55億46百万円増加し、771億32百万円となりました。

5

#### 5 固定負債

固定負債は前期末比3億16百万円減少し、199億77百万円となりました。

6

#### 6 負債合計

固定負債は減少しましたが、流動負債が増加したことから、負債合計は前期末比52億30百万円増加し、971億9百万円となりました。

7

#### 7 純資産

利益剰余金が増加したことなどから、純資産は前期末比120億12百万円増加し、1,765億45百万円となりました。

連結財務諸表

連結損益計算書

(単位:百万円)

	当期 2015年1月1日~ 2015年12月31日	前期 2014年1月1日~ 2014年12月31日	増減額
売上高	260,174	233,252	26,921
売上原価	159,319	142,161	17,158
売上総利益	100,854	91,090	9,763
販売費及び一般管理費	69,135	64,106	5,028
営業利益	31,719	26,984	4,734
営業外収益	1,023	4,566	△3,543
受取利息	473	435	38
為替差益	-	3,285	△3,285
その他	549	845	△295
営業外費用	1,877	314	1,562
支払利息	195	176	18
為替差損	1,514	-	1,514
その他	167	138	29
経常利益	30,864	31,235	△371
特別利益	63	51	12
固定資産売却益	63	51	12
特別損失	1,850	4,609	△2,758
固定資産売却損	12	78	△66
固定資産廃棄損	46	90	△43
減損損失	1,061	104	957
のれん償却額	729	3,186	△2,456
特別退職金	-	1,150	△1,150
税金等調整前当期純利益	29,077	26,678	2,399
法人税、住民税及び事業税	12,179	11,716	463
法人税等調整額	△328	△97	△231
法人税等合計	11,851	11,618	232
少数株主損益調整前当期純利益	17,226	15,059	2,166
少数株主利益	254	47	206
当期純利益	16,971	15,011	1,960

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当期 2015年1月1日~ 2015年12月31日	前期 2014年1月1日~ 2014年12月31日	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,424	22,002	8,421
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,306	△21,888	10,581
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,665	△2,042	△2,622
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,399	987	△2,387
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,052	△940	13,992
現金及び現金同等物の期首残高	51,769	52,710	△940
現金及び現金同等物の期末残高	64,822	51,769	13,052

8 売上高

フードサービス産業をはじめとする既存顧客への販売促進を継続し、新規顧客への販路拡大に取り組み、海外では主力製品の一層の拡販に努めた結果、売上高は前期比11.5%増の2,601億74百万円となりました。

9 営業利益/経常利益

増収効果に加え、原価低減、ITを活用した業務の効率化や生産性の向上に努めた結果、営業利益は前期比17.5%増の317億19百万円となり、経常利益は、為替差損15億14百万円の計上などもあり、前期比1.2%減の308億64百万円となりました。

10 当期純利益

当期純利益は、前期比13.1%増の169億71百万円となりました。

11 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、304億24百万円の収入となりました。これは主に、法人税等の支払額が118億20百万円ありましたが、一方で、税金等調整前当期純利益(290億77百万円)、のれん償却額(35億95百万円)、減価償却費(56億31百万円)などがあったことによるものです。

12 現金及び現金同等物の期末残高

営業活動によるキャッシュ・フローの収入増、投資活動によるキャッシュ・フローの支出減などの結果、現金及び現金同等物の当期末残高は前期末に比べ130億52百万円増加し648億22百万円となりました。

株式関連情報 (2015年12月31日現在)

株式の状況

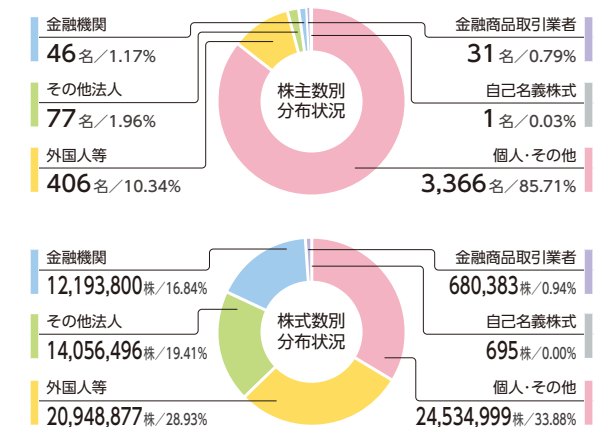
発行可能株式総数	250,000,000 株
発行済株式の総数	72,415,250 株
株主数	3,927 名

大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
坂本ドネイション・ファウンデーション株式会社	6,203	8.57
公益財団法人ホシザキグリーン財団	5,800	8.01
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	3,185	4.40
ホシザキグループ社員持株会	3,108	4.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,955	2.70
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,885	2.60
真木 薫	1,757	2.43
真木 豊	1,707	2.36
稲森 美香	1,690	2.33
坂本 美由紀	1,135	1.57

※持株比率は自己株式(695株)を控除して計算しております。

株式分布状況



国内外ネットワーク (2015年12月31日現在)

ホシザキ電機株式会社

- 本社/愛知県 豊明市
- 島根本社工場/島根県 雲南市

国内グループ会社

- ホシザキ北海道株式会社/北海道 札幌市
- ホシザキ東北株式会社/宮城県 仙台市
- ホシザキ北関東株式会社/埼玉県 さいたま市
- ホシザキ関東株式会社/東京都 文京区
- ホシザキ東京株式会社/東京都 港区
- ホシザキ湘南株式会社/神奈川県 横浜市
- ホシザキ北信越株式会社/石川県 金沢市
- ホシザキ東海株式会社/愛知県 名古屋
- ホシザキ京阪株式会社/大阪府 大阪市
- ホシザキ阪神株式会社/大阪府 大阪市
- ホシザキ中国株式会社/広島県 広島市
- ホシザキ四国株式会社/香川県 高松市
- ホシザキ北九州株式会社/福岡県 福岡市
- ホシザキ九州株式会社/鹿児島県 鹿児島市
- ホシザキ沖縄株式会社/沖縄県 那覇市
- 株式会社ネスター/愛知県 大府市
- サンセイ電機株式会社/島根県 雲南市

海外グループ会社

- HOSHIZAKI USA HOLDINGS, INC./米国
- HOSHIZAKI AMERICA, INC./米国
- HOSHIZAKI SOUTH CENTRAL DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
- HOSHIZAKI WESTERN DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
- HOSHIZAKI NORTHEASTERN DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
- HOSHIZAKI NORTHCENTRAL DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
- HOSHIZAKI SOUTHEASTERN DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
- HOSHIZAKI NEW ENGLAND DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
- Jackson WWS, Inc./米国
- LANCER CORPORATION/米国
- ADVANCED BEVERAGE SOLUTIONS, LLC/米国
- LANCER DE MEXICO, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE/メキシコ
- INDUSTRIAS LANCERMEX, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE/メキシコ
- SERVICIOS LANCERMEX S.A. DE C.V./メキシコ
- HOSHIZAKI LANCER PTY LTD/豪州
- HOSHIZAKI LANCER LIMITED/ニュージーランド
- Lancer Europe/ベルギー
- Aços Maccom Indústria e Comércio Ltda./ブラジル
- Hoshizaki Europe Holdings B.V./オランダ
- HOSHIZAKI EUROPE LIMITED/英国
- Hoshizaki Europe B.V./オランダ
- GRAM COMMERCIAL A/S/デンマーク
- GRAM UK LIMITED/英国
- Gram Deutschland GmbH/ドイツ
- Gram Nederland B.V./オランダ
- Graminoks Sogutucu Sanayi ve Ticaret A.S./トルコ
- Western Refrigeration Private Limited/インド
- Western Coolers and Freezers Private Limited/インド
- HOSHIZAKI (THAILAND) LIMITED/タイ
- HOSHIZAKI MALAYSIA SDN. BHD./マレーシア
- HOSHIZAKI SINGAPORE PTE LTD/シンガポール
- PT. HOSHIZAKI INDONESIA/インドネシア
- 星崎香港有限公司/香港
- 星崎(中国)投資有限公司/中国
- 浙江愛雪制冷電器有限公司/中国
- 星崎冷熱機械(上海)有限公司/中国
- 星崎電機(蘇州)有限公司/中国
- 台湾星崎股份有限公司/台湾
- Hoshizaki Korea Co., Ltd./韓国